

Do CL Column

育てる力を、育てる努力
—CL を実践し続ける—

香菜恵



2022/01/05

不意打ちを叩く様に、朝、ブラウン管の向こうにジョーカーは現れた。

電車の中で、取り返しのつかない、悲惨な事をした様だ。逃げ惑う人々の顔に見えた恐怖は、私にも伝染した様に、そのまま国民に伝染したのではないだろうか。恐ろしい事をしてかした直後に、ジョーカーは脚を組んで、タバコを蒸して居た。

ジョーカーは、最初からジョーカーだったのだろうか？事実に注目する。

そんなはずは無いだろう、無いのだ。

生まれた時から、悪い事をしようとして居る赤ん坊が居るはずも無い。そんなのは下手に脚色された、お伽話だ。反対に、一点の曇りも無い顔で、私は善人です。と大勢の人に向かって言える人物は、信用出来るか？と私は自分に問いかける。

私はいい加減、腹を括りたくなかった。

私達は牛も豚も鳥も殺して食べる。豚を殺す時は醜い顔をするのが普通だ、良い人にはなれない。

いじめもDVも、貧困問題も、近親相姦も盗みも盗撮も、誰1人無関係にはなれない。何故なら、誰ももがその可能性を内在しているからだ。

だけど、私達は、行動ならコントロール出来る。

逆に言えば、行動しかコントロールは出来ない。

極論、行動に行動を積み重ねて、律するか律しられないか、それだけにかかって居ると私は思う。残念ながら、それは1人では難しいことだとも感じる。誰1人省かず、人と人が協力して律し合う努力をしていかなないと、悲劇は起きる。省かない事が綺麗事なのではなく、省いて綺麗な物しか見ないことの方が綺麗事ではないだろうか。

朝、テレビ画面の向こうにジョーカーは現れた。

タバコを蒸すその手は、よく見ると震えて居た。

その震えを、叫んで跳ね付けたくなり、またそこだけに、藁にもすがる思いで真っ直ぐに見つめた。

(千葉県千葉市)

 [目次へ戻る](#)